

長岡地区納税貯蓄組合連合会 会長賞 佳作

税金の平等さ

長岡市立小国中学校

三年 坂本 愛樹

私達のクラスでは、この前、税理士さんからの講演会がありました。そこで特に印象に残ったのは、税金は皆が平等に納めている、というものです。そこで、どのように平等になっているか、考えてみました。

私はお買い物が好きです。ものを買う時は値段は見ますが、消費税となる税金は見いていません。ですが、昨年、お母さんの車を替えようと、車の店に行きました。どれも値段が高いです。そこで消費税の方を見てみました。すると、私が服や本を買う時の消費税と比べて、重みを感じました。また、スーパーに売ってある十円のおかしも、十二円ほどに税によって値上げしてしまいました。

どれも、値段は違いますが、その物に対しての割合は同じです。どの消費税に対しても、同じ気持ちでいなければならないと思います。なので私は、一円、一円大切に、納めようと改めて実感しました。

税が平等になっているのは、まだまだあります。収入によって税が変わる所得税です。年収一〇三万円をこえると、所得税がかかるようになるそうです。収入が少ない人は、所得税も少なく、

収入が多い人は、所得税も多くなります。ですが、この税も平等になっています。所得税が一番高い国は、スウェーデンです。ちなみに、日本は二番目に高いと聞き、おどろきました。大人になったら、精一杯働いて、所得税を納めようと思いました。

また、平等になっているのは納める人も平等になっています。例えば、物を買う時消費税を納めます。小さな子供から、高齢者までどの年齢の人でも同じ消費税を納めます。

まだまだありますが、税にはこのような平等さがあります。全てが平等になっていることで、国民全員で良い生活を築いていることを感じました。

今、私たちの周りには、私たちが健康で安全に暮らせるようにつくられた、たくさんさんの『公共サービス・公共施設』があります。学校や道路、市役所や病院など、生活するのに必要不可欠なものだらけです。このようなものを作るため、税金を納めてみんなが負担しています。その大切さを胸に、日頃の生活で正しく税金を納めていきたいです。大人になったら、もっと多くの税金がでてきます。大人になっても、学んだ知識を生かして、国に貢献していきたいです。